

地元大豆 防災缶に

神奈川県相模原市の酒屋「豊国屋」は、同市消防局と連携し、防災缶「津久井在来大豆 蒸かし豆119」の販売を始めた。1缶135円入り486円。豊国屋やJA相模原市農産物直売所「ベジタベーな」などで販売している。



防災缶を持つ岡本さんとイラストを描いた児童（神奈川県相模原市で）

神奈川県相模原市 消防のQRコード付け

防災缶は3年間保存が可能。非常時にすぐに情報を得られるよう、消防情報にアクセスできる2次元コード（QRコード）を付けた。

パッケージの絵は、同店の指導の下、大豆「津久井在来」の学習を進める同市立谷口台小学校の3年生が協力した。大豆のイラストの他、消防車や救急車などを描き、かわいらしく仕上げた。9月9日の「救急の日」に合わせて販売を始めた。

児童は「津久井在来大豆をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思って描いた。パッケージに選ばれてうれしい」と笑顔で話した。

豊国屋の岡本政廣さん(70)は「津久井在来大豆の魅力と共に、防災への理解も高めてもらえたら、いざというときの非常食に役立ててもらいたい」と話した。

（神奈川県・相模原）